



博物館だより

リイシリ

令和4年
349号

2/21~

秋の移動展示
利尻にカマキリ!?

第二回秋の移動展示「利尻にカマキリ!」を開催します。鴛泊フェリーターミナル（2階）、利尻ふれあい温泉、交流促進施設「どんと」、仙法志郵便局の島内4カ所を巡回します。展示を設置している場所とその日程は下記のカレンダーの通りです。は各施設の開館・営業時間に準ずるものとします。

この移動展示では、昨年、利尻島内で初めて発見されたカマキリについて、パネル2枚で紹介いたします。カマキリの標本や写真などの実物資料も展示する予定です。

気軽にご覧いただける小さな展示ですので、お近くにお越しの際には、ぜひお立ち寄りください。

発行：利尻町立博物館

住所 〒097-0311 北海道利尻郡利尻町仙法志字本町136
電話 0163-85-1411
FAX 0163-85-1282
e-mail riishir@museum.gov.rishiri.hokkaido.jp

秋の移動展示 開催日程

日	月	火	水	木	金	土
9/11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	10/1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22

■ 鴛泊フェリーターミナル
9月16日～ 25日

■ 利尻ふれあい温泉
9月26日～10月2日

■ 交流促進施設「どんと」
10月3日～ 10日

■ 仙法志郵便局
10月11日～ 17日

博物館事業報告

マダニ観察会

利尻島には北海道本土に分布するエゾシカなどの大型哺乳類がないものの、それらを吸血源にもしているマダニの仲間が数種分布しています。マダニは様々な感染症を吸血によりヒトにもたらすことがあり、それらの中には比較的重い病気も含まれます。これらの感染症を防ぐためには、まずはマダニのことをよく知り、マダニに刺されないような予防を行うほか、屋外から戻ったらマダニがついていないかよく確認することが重要です。当館では国立感染症研究所の調査に協力しており、その一環として島民の方々にもマダニのことを知ってもらおうと、数年前から採集会などを開催しています。今年6月4日に神居地域で開催しました。参加者のみなさん、か



旗を地面に引きずり、旗にくっついたマダニを採集する、旗ずり法でダニ探しをしました。

なり熱心に探していただいたものの、残念(?)ながらマダニをその場で採集することができませんでした。マダニについてはまだまだ新しい発見もありそうなので、次年度以降も島内各地でマダニ探しをしてみたいと思っています。(佐藤)

博物館の道具箱 7

アイスクリーム

写真は収蔵庫の中に保管されているアイスクリームのカップです。かつて、仙法志や杵形にはアイスクリームやアイスキャンデーなどを販売している商店もあったとききます。写真のようなカップにアイスクリームを盛り付けて販売していたのでしょうか。このほかにも、アイスクリームコーンをたてて入れられるおかもちも所蔵しています。お店で買って食べるだけでなく、アイスクリームの出前などもあったのかもしれないですね。夏に一仕事終えて食べるアイスクリームはとてもおいしいだろうなあと想像しています。(富岡)



当館の収蔵庫に保管されていたアイスクリームカップ。どのお店で取り扱っていた物なのでしょうか。

博物館事業報告

磯の生き物観察会

7月9日(土)に磯の生き物観察会を開催しました。5回目の今回は仙法志地区にある伊藤の澗の周辺で、参加者のみなさんと岩礁に生息する生物を探しました。開催日は晴れて汗ばむ陽気で、海日和となりました。伊藤の澗はニシン漁の時代に袋澗として使われていた漁業施設で、水揚げを行うほか、漁獲したニシンを貯蔵する場所などのとして使われていました。昔の漁業に思いをはせながら、澗のそばを通り抜けると、その横には波あたりが穏やかな磯があり、そこには浅いタイドプールもあります。水の中を覗き込むと小さな動物たちが動いている様子がゆっくりと観察することができます。小さな子供達も海の中の生き物にふれることができます。

今回もいつも通り参加者のみなさんと一緒に1時間程度、磯の散

策をしながら生き物を探し、15種以上の動物が発見することができました。また、今回の観察会から、海藻類の採集や観察も行い、7種もの海藻、1種の海藻も観察しました。今回の観察会で採集したのは手を伸ばして捕まえられるような、浅い場所にすむ生き物ばかりですが、これほど短い時間でたくさん生物を発見することができました。採集方法を変えたり、少し深い場所も探してみると、さらに多くの生き物を観察できるかもしれません。(富岡)



参加者のみなさんは海の中をのんびりとのぞきながら、生き物を探していました。

お知らせ

利尻研究へのご投稿

「利尻研究」は1年に1回出版される当館の研究紀要です。利尻島や道北地域、離島に関する研究成果をはじめとする幅広い分野の論文を掲載しています。次号(42号)は2023年3月に出版予定です。掲載をご希望の方は2022年11月30日までにご投稿をお願いいたします。原稿や図版作成のルール(投稿規定)は本誌や当館ホームページをご確認ください。11月30日以降も次々号(43号)以降への掲載分として、ご投稿をお待ちしております。

リイシリ購読・閲覧

利尻町内の方には無料でお届けしています。町外の方は1部につき郵送料84円のご負担で定期購読が可能なほか、メール配信も行っております。定期購読については当館までお気軽にお問い合わせください。

なお、本誌は博物館のホームページでも閲覧可能です。最新号のほか、過去2年分のバックナンバーも公開中です。下のQRコードからアクセスしてください。



スマホで
アクセスできます!

